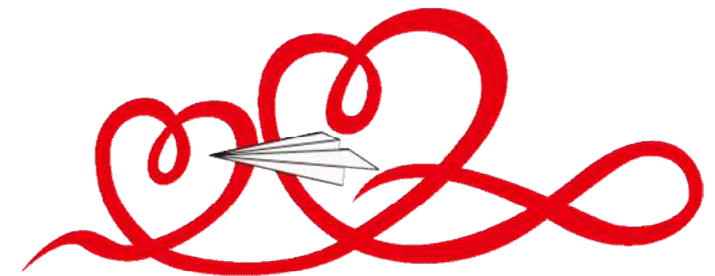


かながわ人生100歳時代ネットワーク

「この指とまれプロジェクト」

グループLINEによる孤立を防ぐ地域コミュニティ作り



Enrich your life

特定非営利活動法人エンリッチ

2022/03/25

① 団体概要

2018年11月現役世代を対象とした孤独死の早期発見の為のLINEを使った見守りサービスをスタート。15歳から105歳まで全国で5,245名（2022/3/14現在）が登録しています。

更にグループLINEによる「つながりサービス」では離れた親子やコロナ禍によって孤立が進んだ地域の高齢者同士が互いに見守り支え合うツールとして高齢化が進む集合住宅の自治会などに導入が進んでいます。

現在は、高齢者へのスマホ教室なども行いスマホ活用のお手伝いも行っています。

- 名称 特定非営利活動法人エンリッチ
- 住所 東京都江戸川区北小岩2-18-16
- 設立 2018年9月3日
- 事業内容 LINEを使った単身者の孤独死の早期発見と、人間関係が希薄になった今、グループLINEを活用して孤立する高齢者同士を繋ぎ地域コミュニティ創出によって誰も取りこぼさない社会の実現に向けて活動

②事業の概要

見守りサービス

LINEのプッシュ通知で安否確認!

あなたのもしものに備えて、LINEによる安否確認を行い不慮の際には、あなたと登録された近親者に連絡することで事故の早期発見と最悪の事態を防止します。

ケース: 2日間隔通知

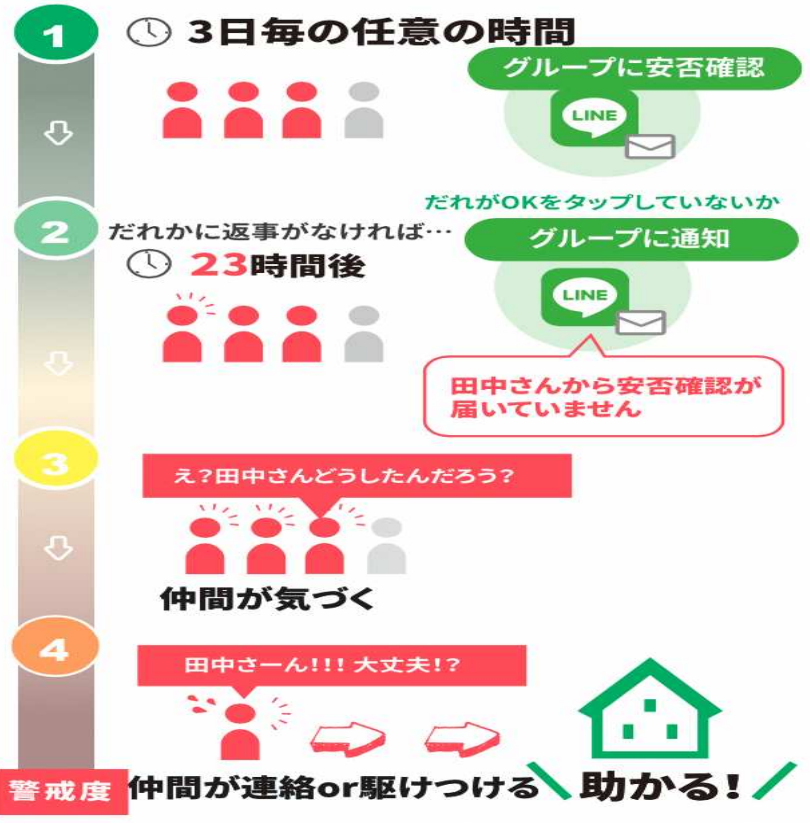


つながりサービス

LINEのプッシュ通知で安否確認!

あなたの大切な方々をグループにし、そのグループへの安否確認送信でグループ内で無事を確認しあえます。

ケース: 3日間隔通知

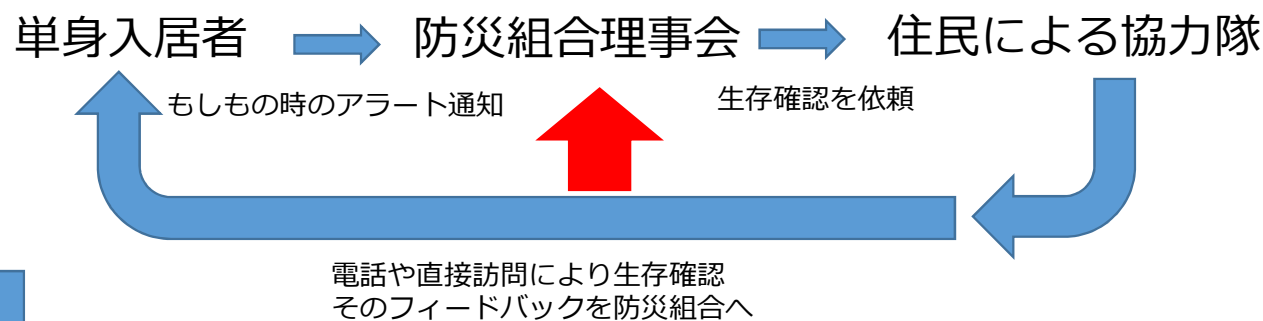


導入事例

地域で地域の方を見守ります。

見守りサービス（特別仕様）

大阪高槻市高齢化が進む集合住宅



つながりサービス

東京多摩ニュータウン高齢化が進む集合住宅 参加者同士が互いに見守る

高齢化対策委員会が情報紙で、単身入居者に参加を呼びかけてつながりサービスを利用

16名がグループLINEでつながり、安否確認を利用。

その他の効果として、地震の際にリアルタイムで互いの安否確認や避難場所などが通知されグループ参加者の安心につながっている。

グループ内でちょっとした何気ない会話などにより、関係性が高まりリアルでのつながりに発展。地域コミュニティツールとしても活用されている

東京玉川学園地区社協では、両方のサービスを併用しニーズによって利用できるよう案内しています。

社会課題とその施策

- 社会課題

単身高齢者の孤立・孤独死

コロナ禍による対面減少と地域のつながりの希薄化

高齢者のデジタルデバイス解消

民生委員後継者のなり手不足

自治会・町会の高齢化及び若者の未加入による衰退及び進まない世代交代

65歳定年退職男子の居場所問題（地域コミュニティへの参加の壁）



○高齢者向けのスマホ教室開催

（65歳定年退職男子を巻き込み次世代の担い手として地域コミュニティ参画へ）

○ LINEを活用したつながりサービスで地域コミュニティ作り説明会

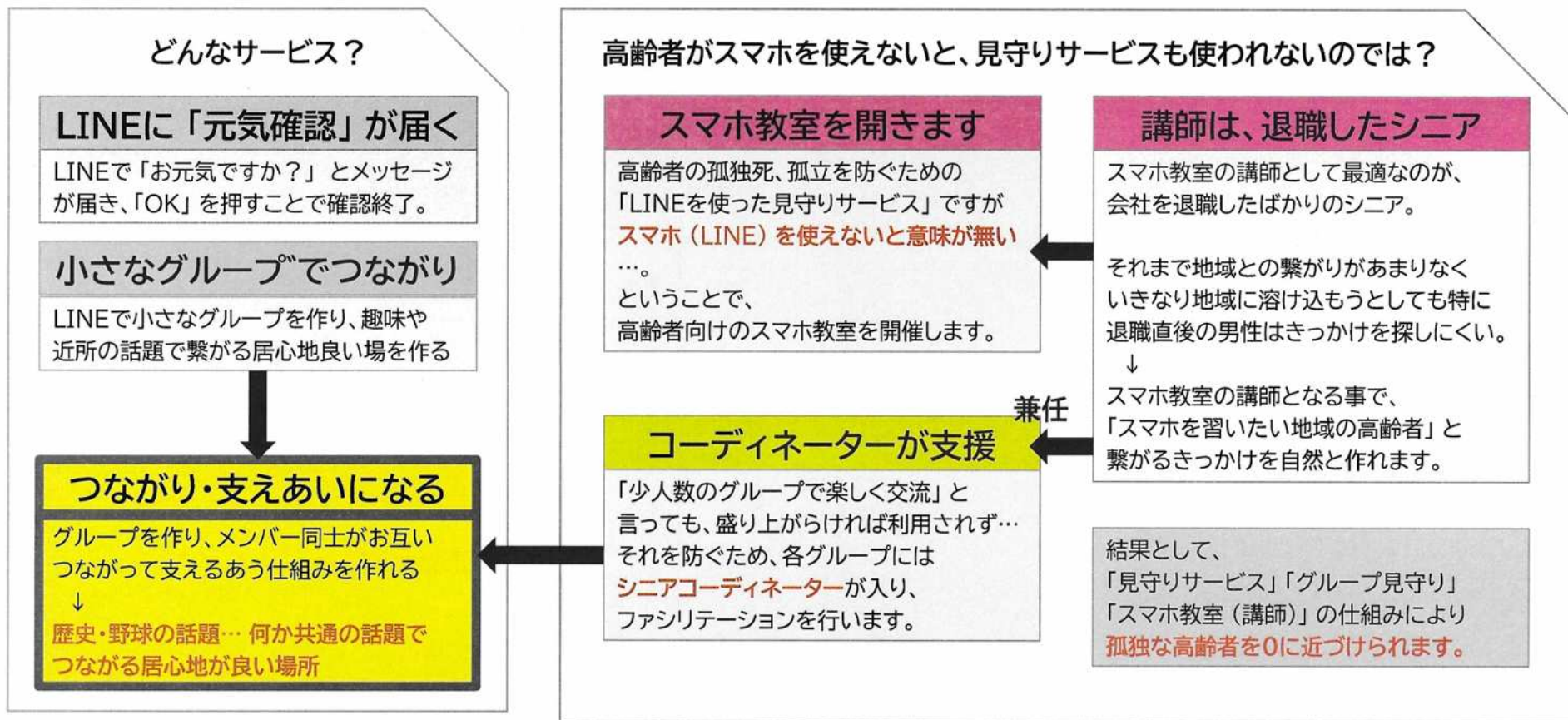
地域コミュニティツールとしてLINEを活用し、孤立する方をつなぎ地域で支える関係構築へ

②事業の概要



スマホを使った、つながり・支えあいサービス

(エンリッチ見守りサービスを活用 ～少人数で居心地よい場を作る～)



②事業の概要

- 実施場所

主旨に賛同頂ける、地域の集会場、会議室

- コロナ対策

人数制限、アクリルパーテーション、検温、消毒、マスク着用必須

- 経費

集客のための広報：ネット情報や主旨に賛同頂ける団体などによる口コミ、
地域の情報誌への掲載の依頼

会場費：支援いただけない場合はエンリッチが負担

会場への交通費：各自自己負担

スマホ教室のテキスト印刷：要相談

LINEのつながりサービスは無料で提供します。

基本的に、皆様のご協力により1度実証実験の実現へ

③事業の期待する効果

- 高齢者向けのスマホ教室開催
(65歳定年退職男子を巻き込み次世代の担い手として地域コミュニティ参画へ)
- LINEを活用したつながりサービスで地域コミュニティ作り説明会
地域コミュニティツールとしてLINEを活用し、孤立する方をつなぎ地域で支える関係構築へ

1.スマホ教室による高齢者のデジタルデバイス解消と65歳定年退職男子の地域コミュニティデビュー

2.LINEを活用した地域コミュニティにより、孤立を減らしつながりのある社会を



○自治会・町会の次世代の担い手へ



○単身高齢者の孤立によるフレイルや認知症の進行防止と精神障害の予防効果

○LINEのつながりをきっかけとしてリアルの関係構築へ

④連携を期待するリソース

- 1.実施モデル地区の選定及び実施交渉のサポート
- 2.65歳定年退職男子への企画趣旨説明会開催→広報・集客、（モデル地区探し）
- 3.スマホ教室開催時、キャリアからの高齢者への指導スキルのあるスタッフによる
会場参加者と65歳定年退職男子へのOJTサポートと端末貸与
- 4.スマホ教室実施時、コロナ禍対策キットの貸与（検温、消毒、パーテーション）
5. 65歳定年退職男子と自治会のマッチング（IT活用の勉強会とつながり作り）
6. 65歳定年退職男子のファシリテーション研修の実施
（企業或いは、県にてサポート求む）
- 7.民生委員団体や地区民生委員への声掛けと説明会開催

⑤事業のスケジュール

4～5月 協力団体など調整

4～5月 開催地区選定

6月～ 65歳定年退職男子用説明会開催

7月～ スマホ教室とLINEによる地域コミュニティ説明会

実証実験として本企画をモデル地区を選出して行い、その有効性と課題の洗い出しを目的とする。

一定の効果がわかった時点で、行政や社会福祉協議会を通じてプロジェクト化を目指す。

⑥最後に一言

この企画は人のつながりをリアルとSNSを活用して新しい地域コミュニティのカタチを作り、誰も取りこぼさずに支え合える社会を目指します。

人間関係が希薄になり、
深い関わりを望まなくなった現代。
それでも一定の距離を保ちつつ、孤立による不安をなくし
人とつながっている安心感が必要です。



エンリッチは、
LINEを使った見守りサービス・つながりサービスを
自治体・行政が提供し誰でも無料で自由に利用できる
社会の実現に向けて活動しています。

一緒に地域のつながり作りにご参加ください。



<https://www.enrich.tokyo>